Shinto News

2025.3

第76号

最近のトピックス Topics

角膜疾患における再生医療

眼科医長
草野　雄貴

再生医療の進展

2007年、山中伸弥教授のグループがiPS細胞の作成に成功したことで、医療分野は大きな転換点を迎えました。この画期的な技術により、再生医療の研究が飛躍的に進展し、さまざまな病気の治療に活用されています。その中でも「眼」は、iPS細胞を用いた最初の治療が実施された重要な分野です。2014年には、日本において加齢黄斑変性の患者さんに対するiPS細胞由来の網膜細胞移植が世界で初めて成功し、再生医療の可能性を示しました。

角膜疾患の現状と課題

角膜は、光を目に取り入れ、視力を維持するために欠かせない組織です。しかし、角膜が病気やけがで損傷すると、視力が低下し、最悪の場合は失明に至ることもあります。従来、角膜移植が主な治療法として広く行われてきましたが、ドナー不足や移植後の拒絶反応といった問題が依然として大きな課題です。このような背景から、細胞治療や組織工学の技術を活用した再生医療が注目され、新たな治療法の開発が進められています。

再生医療による角膜治療の成果

1．角膜上皮

片方の眼に限られる角膜上皮幹細胞機能不全に対しては、患者さん自身の健康な細胞を採取・培養し、シート状にして移植する「ネピック®」が開発されました。この技術により、拒絶反応を避けつつ、少量の自己組織から治療が可能となりました。また、両眼に影響が及ぶ患者さんに対しては、口腔粘膜を活用した「オキュラル®」や「サクラシー®」が登場し、治療が可能になりました。

2．角膜実質

円錐角膜患者に向けた治療として、「Bowman膜移植」や、ドナー角膜を利用した角膜内リング「CAIRS」が導入されています。これらの治療は、角膜の形を整え、視力を向上させることを目指しています。特に、生体材料を用いる「CAIRS」は、従来の人工リングに比べて合併症のリスクが低減されると期待されています。

3．角膜内皮

角膜の奥にある内皮細胞が機能しなくなる「水疱性角膜症」には、部分的な移植技術である「DSAEK」や「DMEK」が広まりました。さらに、2023年には、ドナー由来の細胞を培養し、患者さんに移植する「ビズノバ®」が承認されました。この技術は、ドナーから複数の患者さんに対応できるため、ドナー不足解消への大きな一歩となっています。

4．角膜神経再生

神経因性角膜症の治療として、感覚神経を移植する「角膜神経再建手術」が行われるようになりました。この技術は、角膜の知覚を回復させ、視力を改善する可能性を秘めています。

終わりに

角膜の再生医療は、視力を取り戻すための夢のような治療法として期待されています。一方で、治療が適用された症例数がまだ限られており、長期的な安全性や効果を示すエビデンスの蓄積が今後の課題です。患者さん一人ひとりの状態に応じて適切な治療を慎重に検討しつつ、再生医療の可能性をさらに広げていくことが、私たちに課された使命であります。

理　念

私たち
くまもと森都総合病院は
質の高い医療を通じて
地域に愛され、親しまれる
病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、
満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、
地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、
安全で質の高い医療を提供します。

KUMAMOTO SHINTO General Hospital

つながる医療。ひろがる未来。
医療法人 創起会
くまもと森都総合病院
〒862-8655　熊本市中央区大江 3-2-65
TEL 096-364-6000（代表）
FAX 096-362-5204
https://www.k-shinto.or.jp

左から　山本春風部長、采田志麻部長

診療科紹介　腫瘍内科

2024年４月に腫瘍内科が新設されました。腫瘍内科を開設している病院は少なく、当院は熊本県内でも数少ない病院の一つとなります。これまで、抗がん剤治療の専門医（がん薬物療法専門医）を取得している常勤医の１名で、外来及び入院診療を担当しておりましたが、2025年１月より采田志麻部長が赴任され、常勤医２名体制となりました。

腫瘍内科は抗がん剤治療の専門科となります。「がん（悪性腫瘍）」は、大きく血液腫瘍と固形腫瘍に分かれます。当院では、血液内科で血液腫瘍の治療を行っており、腫瘍内科は、主に固形腫瘍の治療を担当しております。当院には、乳腺外科、外科、肝臓・消化器内科、産婦人科など固形腫瘍の診療を行っている専門科が複数あり、それぞれで抗がん剤治療も行っております。一方で医学の進歩により、従来からの殺細胞性抗がん薬に加え、分子標的治療薬、がん免疫療法薬など、種類が豊富になってきました。さらに、がん細胞の遺伝子を網羅的に検査して治療につなげる、がん遺伝子パネル検査も使用されるようになり、抗がん剤治療は複雑化しています。抗がん剤による副作用管理も難しくなっています。腫瘍内科は、複雑化する抗がん剤治療のお手伝いができる専門診療科となります。これまでは主に、乳癌の抗がん剤治療を担当していましたが、スタッフの増員に伴い、担当範囲も広がることとなります。

当院における外来抗がん剤治療は化学療法室で行われます。６台のベッド及び９台のリクライニングシートの計15床で治療を行っております。化学療法室のマネジメントも腫瘍内科の役割の一つであり、化学療法室のスタッフと共に、安全な外来抗がん剤治療が実践できるよう、日々研鑽を積み、進化し続けて参ります。

現在、がん遺伝子パネル検査にて特徴的な遺伝子変異が見つかった場合、それに対応する薬剤を投与するという流れが保険診療として実践されております。がん遺伝子パネル検査は、熊本県内では大学病院を始めとする３病院のみでしか実施できませんので、全ての患者さんで当該検査を行うことはできませんが、適応となる患者さんを取りこぼすことがないよう、適切な時期に紹介し、検査を行うようにしています。

このように、がん細胞の遺伝子検査が日常診療として行われるようになり、当該検査を受けた方が、実は遺伝性腫瘍の保因者であることが判明することも稀ではなくなりました。遺伝性腫瘍と判明した場合、その腫瘍は血縁者に広く関わる問題となります。遺伝性腫瘍の相談の場としての遺伝カウンセリングが当院にもありますが、この遺伝カウンセリングについても関わっていけるよう、各診療科・部門と調整をしていきたいと考えております。

（腫瘍内科部長　山本 春風）

『第35回 Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ　生理がつらい･･･子宮内膜症、子宮腺筋症、子宮筋腫

日　時　2025年3月27日（木）17：30～

場　所　くまもと森都総合病院 5F 大会議室

講　師　特別顧問 産婦人科　片渕 秀隆

開催方法　ハイブリッド開催（Web 参加も可能です）

参加方法　下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。
お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
（https://bit.ly/4gnJST0）

腫瘍内科　腫瘍内科部長　采田　志麻　Shima Uneda

2025年１月からお世話になっております、腫瘍内科の采田と申します。血液疾患の診療・各種固形がん及び造血器腫瘍の化学療法を行うとともに、がんと診断された時からの緩和ケアの提供などに携わって参りました。海外や県外で勤めた時期もありますが、今までの半生のうちの長い時間を、熊本のがん患者さん・がん診療を守る仕事に従事して参りました。地域で癌診療をされる多くの先生方にご指導をいただき、皆様と連携し力を合わせて患者さんをお守りして来られたことに感謝しております。この度ご縁があって、くまもと森都総合病院で勤めさせていただく事になりました。ますます、熊本のがん患者さんやご家族・サバイバーの皆様、患者さんを守る地域の先生方をお支え出来るよう、精進して参る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

患者紹介について　患者さんご紹介の流れ

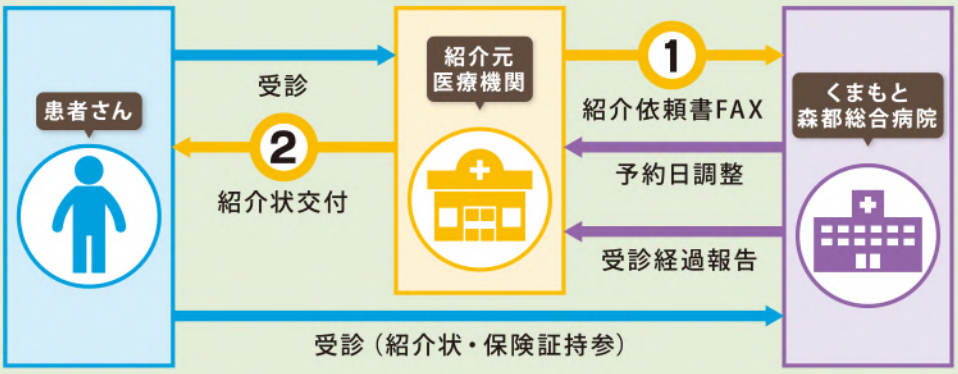
① 外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へ**FAX（096-364-8585）**ください。所定書式を準備しております。
当院ホームページからダウンロードも可能です。

https://www.k-shinto.or.jp/　トップページ ＞ 医療関係者の方へ ＞ **患者紹介について**

② 患者さんへ紹介状をお渡しいただきますようお願いします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに**紹介状（診療情報提供書）**をお渡しいただき、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約（FAX予約）受付時間
平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先　地域医療連携室
FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介について　**緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。**

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いします。

地域医療連携室　Tel.096-364-9790　Fax.096-364-8585

医療法人 創起会
くまもと森都総合病院

外来診療担当医一覧

〒862-8655
熊本市中央区大江三丁目2番65号
TEL 096－364－6000（代表）
FAX 096－362－5204
URL：https://www.k-shinto.or.jp

受付時間　午前 8:00～11:00（再来機の受付は7:30より開始）　※急患はこの限りではございません

2025年3月1日現在

	午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕						
総合診療科	午前	濵 諒輔 初診	吉田 健	宮村 智裕	吉田 健	宮村 智裕
		宮村 智裕 再診	濵 諒輔	吉田 健 再診		濵 諒輔
	午後			宮村 智裕 再診 訪問診療		
肝臓・消化器内科	午前	藤山 重俊	宮瀬 志保	藤山 重俊	宮瀬 志保	柚留木 秀人
		柚留木 秀人	泉 見奈	東野 奈津己	東野 奈津己	泉 見奈
内視鏡担当	午前	宮瀬 志保	東野 奈津己	宮瀬 志保	柚留木 秀人	宮瀬 志保
		東野 奈津己	柚留木 秀人	柚留木 秀人	泉 見奈	東野 奈津己
		泉 見奈		泉 見奈		
血液内科	午前	藤原 志保	藤原 志保	下村 泰三	藤原 志保	下村 泰三
		大徳 勇人	鈴島 仁	渡邊 祐子	渡邊 祐子	宮川 寿一
			宮川 寿一			
	午後	下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一	大徳 勇人
					鈴島 仁	
腫瘍内科	午前	山本 春風	采田 志麻		采田 志麻	山本 春風
	午後		山本 春風			采田 志麻
循環器内科	午前	中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太
	午後	中村 尚太		中村 尚太		
腎臓内科	午前				水足 謙介	水足 謙介
	午後	水足 謙介				
リウマチ膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後			高岡 宏和 再診		
呼吸器内科	午前			古川 嗣大（熊大） 再診		
代謝・内分泌内科	午後			有馬 由佳（熊大） 再診		
外科	午前	横山 幸生	手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 ルミ子
		田嶋 ルミ子				
	午後	手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター（乳腺外科） 午前 8:30～12:00 午後 14:00～16:00 （完全予約制）	午前	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診 手術
	午後	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
		中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
		藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子
産婦人科	午前	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司
		岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠
	午後	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	手術	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	永井 隆司 予約
						岡島 翠 検診
整形外科（完全予約制）	午前		砥上 若菜 再診	髙田 興志 再診		
	午後					担当医 再診
リハビリテーション科	午前				細川 浩 再診	
眼科（完全予約制）	午前	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴		草野 雄貴
		藤崎 雅彦	藤崎 雅彦	藤崎 雅彦 9:30診療開始	手術	藤崎 雅彦 9:30診療開始
		松本 光希	松本 光希 9:30診療開始			
	午後	手術	担当医 再診	手術	手術	手術
					松本 光希	
皮膚科（完全予約制）	午前	田中 憲一郎	松尾 敦子	松尾 敦子 訪問診療	城野 昌義 再診	松尾 敦子
		松﨑 恵里奈	松﨑 恵里奈	田中 憲一郎	田中 憲一郎	松﨑 恵里奈
	午後		手術		回診	手術
緩和ケア科	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	
麻酔科 ペインクリニック（完全予約制）	午前	洲崎 祥子		田口 裕之		田口 裕之
		田口 裕之（術前診療）		洲崎 祥子（術前診療）		田口 裕之（術前診療）
禁煙外来（予約制）	午前					田口 裕之
放射線科（幸秀明・西東葉子）	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医